

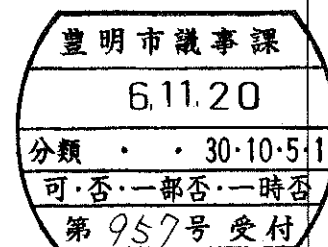
豊明市議会議長 殿

研修会・講演会等参加報告書

議員名 浅井 たかお

令和6年度豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日 付	研修先	研修項目及び成果等
令和6年10月21日～ 10月22日(1泊2日)	全国市町村国際文 化研修所(JIAM) (滋賀県大津市)	議会改革を考える ～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～ 第一日目 地方議会の展望 「議会改革度調査」から見る地方議会 住民参加・情報公開を進める取組① 第二日目 住民参加・情報公開を進める取組② 各議会における今後の議会改革推進 の検討 成果等は別紙にて。



(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

別紙

議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～

1. 議会改革度調査から見る地方議会(1日目)13:00～14:30

講師 早稲田大学 名誉教授 北川 正恭 氏

時代認識

- ・今の政治や経済のあり方や教育のあり方などは、抜本的に変えられる
- ・農業革命、産業革命以上の大革命期の感覚を！
- ・DX時代到来

(1) 思い込み打破 ・議会とはこんなもんだ

- ・執行部優先の中央集権体制の残滓
- ・中央集権からの脱却
- ・2000年地方分権一括法
- ・国と地方は上下主従から対等協力へ
- ・執行部と対等な機関競争を

(2) 議会の役割は執行部の監視だけでない

- ・議会の役割
- ・民意の反映
- ・政策立案、提言
- ・議員提案条例

(3) 定数削減、報酬削減、政務活動費削減は改革とは言えない

- ・住民福祉の向上に議会が貢献する－改革

- ・今まで通りの行政に明日はない

(4) 執行部に要望（お願い）－提案

(5) 執行部の役割－法律、規則に基づいて公平、公正な行政執行

- ・縦割り行政は集権時代の名残り

- ・執行部－(ルールオリエンティッド)－前例主義

- ・議会－(ミッションオリエンティッド)－民意優先、指名優先

- ・議員活動－会派活動－議会活動

(6) チーム議会(議会事務局と一体で)墨田区議会の議会基本条例

- ・議員間討議

- ・善政競争－マニフェスト大賞

- ・気づきの連鎖

(7) 改革の進んだ議会と遅れている議会の違い

- ・「うちの議会は改革している」と「もっと改革をしなければ・・・」の違い

- ・議会から地方を変える－執行部を督励

- ・地方から国を変える

(8) 2030年問題(高齢化、少子化による人口減少が要因で、2030年に顕在化すると考えられている社会問題の総称)

- ・地方議会が変えるという気概を持って！

所感

1985年～1990年はお金で何でも動かせる時代で、お金にまみれていた時代だった。戦争で日本人が310万人も殺され、1945年、日本は最貧国だった。飢えた国民を腹一杯にさせたいので改革を目指すも、お金がない。そこで主権国家の「軍隊」に手をつけた。兵舎がとても立派なものであったので、軍費を減らし、工業を発展させるためにお金を重点的に注ぎ込んだ。それに必要なものは「港湾」が要る。ここにもお金を重点的に注ぎ込んだ。それが太平洋側だけが発展した「表日本」理由。一次産業だけでは生活できない、とされた。サミット先進5カ国の中で、日本は戦後30年でトップになった。

中央集権で、所得に大きな差ができた。東京では平均所得が年間1,300万円、一方、地方130万円、と大きな開きができてしまった。「今後、立法府の改革、行政改革、司法改革を進めていかなければならない」という。(国会が含まれる)

北川氏は50歳で三重県知事に。県知事になって、「利権」はやめたそうだ。市の職員が「議会事務局」に移動することは「出世コース」だという。知恵の力で議会事務局と一緒に条例作りや改革をすること。(北川氏談)

「議会が変わらないと、執行部が悪いまま。議会が悪かったら、執行部も悪い」。また、改革前の議員は「要求型」の質問ばかりしていた。

議会改革が進んでいない議会は、「自分たちは議会改革が進んでいる」と言うそうだ。その逆に「自分たちはまだまだ議会改革を進めなければいけない」と思っている議会は、改革が進んでいる。他に、「議員削減、議員報酬削減」等を聞くが、量的削減であるだけなので、これだけでは全くだめだそうだ。執行部を動かすためには、「議員間討議」をしっかりとしないとダメ。今まで通りの議会では面白くないので、議員のなり手が居ないのは当然だという。これは本当だと思った。

2日目の講義のうちの一つ。宮城県柴田町議会の議長 高橋たい子氏の講義では、模擬議会を実施して、そこから本当に議員になったそうで、女性議員第1号だとのことだ。その後、模擬議会から4人の女性議員が誕生した実績がある。「通年議会は、忙しくない」→執行部も働き方改革しないといけないが、議会関連の仕事についても、全職員の仕事であることを理解してもらうようにしているそうだ。私も同感だ。

他に常任委員会を活発にっていて、全会一致を目指す、それが叶わなければ、再度、それについて討議して、それでもまとまらなければ、その議題に関しては一般質問の課題にしていくそうだ。これは良い考え方なので、議員提案していきたいと思う。他にも大変貴重な講義を聴けたがメモ仕切れなかった。録音も禁止だったので残念であるが、今回の研修を今後、豊明市議会に活かしていきたい。